



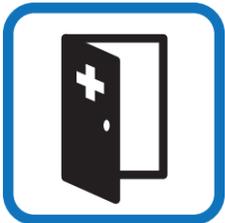
神戸百年記念病院が実施する 新型コロナウイルス感染症 に対する院内感染防止対策について

神戸百年記念病院では、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止をするための水際対策として下記の様々な取り組みを実施しています。



全入館者の検温チェックと手指消毒

病院の正面玄関入口にて**検温**、および**アルコール手指消毒**を実施しています。



感染が疑われる方を診療する隔離室の設置

感染が疑われる方を安全に診療できる場所として、**隔離室3室**を敷地内に設置します。



クリーンタイムの実施

毎日11:45~12:00の時間で外来待合室(地下、1階、2階)の椅子を消毒しています。



ビニールカーテンの設置

各種受付にはビニールカーテンを設置して、飛沫感染対策を実施しています。



感染対策チームによる感染管理の実施

院内ラウンドを実施し、現場の感染管理状況の監視、指導を行っています。
また、感染症の発生状況を調査監視し、情報共有や対策の協議も実施しています。
※感染対策チーム：院内で起こるさまざまな感染症から患者・家族、職員の安全を守るために活動を行う組織



全職員の健康管理の徹底

全職員に対して勤務前の検温を実施し体調チェックを行っています。
同時に手洗い・アルコール殺菌・マスク着用も徹底して行っています。



入館者への検温チェック



隔離室の設置



クリーンタイムの実施



ビニールカーテンの設置



医療法人社団 顕鐘会

神戸百年記念病院